

# 一般質問



樽山 忠 議員

## 第2みちのく道路の北伸は青森方面への高速化の道

**質問①** 第2みちのく道路北伸の上北道路と上北天間林道路の完成時期及び工事の進捗状況を問う。

**町長答弁** 上北道路の計画区間、六戸町犬落瀬から東北町大浦まで7.7kmの今年度末の進捗率は92%で平成24年度に供用開始予定である。上北天間林道路の計画区間、大浦から七戸町附田向まで7.8kmは、今年度は設計及び用地取得を進め、新たに工事着工中で進捗率は約8%、平成28年度以降に供用開始予定である。

**質問②** 三沢・十和田・下田ICに対する青森方向へのアクセス道路について問う。

**町長答弁** 青森河川国道事務所の情報を担当課の地域整備課長より説明させる。

**地域整備課長** ICの造り方は、現八戸方面への降り口上り口と同じ形状を反対側の青森方向に造る。現在のみちのく有料道路敷地内で処理をすることになっている。

## 敬老会を今後どのように

**質問①** 町主催の敬老会を何時の時点で町内会に全面移管するのか、その理由を問う。

**町長答弁** 75歳以上の高齢者が年々増加傾向にあり、会場が狭いこと、参加率が28%と低いことが課題であり、町内会開催で気軽に出席いただき参加率アップを目標に、平成22年度から始めた。町内会への全面的運営委託は、25年度からスタートさせたい。町内会事情を踏まえながら、相

談にに応じて地区及び、町内会開催を実現して行きたい。

**質問②** 現在テスト開催の町内会の会場はバリアフリー化が遅れている。その対策としての改造、改築の助成を問う。

**町長答弁** 町の公共施設は徐々にバリアフリー化をしているが、集会所等については敬老会開催に合せて、トイレの洋式化を図って来たが、車椅子利用者には、面積が狭く不便をかけている。改造、改築の助成金であるが「町集会所建築等補助金交付要綱」で1/2の補助をしている。

**質問③** 狭い地区内より、広い地域内の友人、知人と交流をしたい、町長初め町の有識者の話を聞きたい、ステージ発表を楽しみたい等の声があり、中学校学区の開催を望む意見があるが検討する考えを問う。

**町長答弁** 平成21年度町単独開催での参加者650人、平成22年度地区、町内会、町開催合計参加者868人、23年度966人と順調に推移して

いる。今始まったばかりです。課題をクリアしながら、中学校学区も検討していきたい。



間木町内会敬老会の様子

## 冬の観光集客に白鳥舞う間木堤を

**質問①** 負傷したオオハクチョウを保護し、平内の保護センターに収容したと聞くが、その後の堤の環境変化を問う。

**町長答弁** 去る1月31日、町観光協会事務局員と関係者で保護作業を行ない、白鳥を保護しました。その後、負傷したオオハクチョウと仲の良かったコブハクチョウの威嚇行為は見られなくなり、今は

常時50羽前後飛来している。

**質問②** 白鳥の飛来状況と今後のPR策を問う。

**町長答弁** 現在も鳥インフルエンザ対策による餌づけ自粛中であり、自然飛来によりハクチョウが増えるまでは、積極的PR活動を差し控えたい。

**質問③** 次年度から「白鳥ふれあいデー」を開催する計画はありませんか。

**町長答弁** 飛来数、鳥インフルエンザ問題、開催費用等イベント開催環境が整っていないことから、次年度も見送ることを決定した。



今期最高の白鳥飛来数 923 羽 (間木堤)

# 一般質問



平野 敏彦 議員

## 全天候型スポーツ施設の整備について

**質問①** 近年、心身面にわたり健康上の問題が大きくなってきており、町民誰でもが生涯にわたって、スポーツに親しめる環境を整えていくことが重要であります。

**答弁** その基盤となるのが全天候型スポーツ施設ではないでしょうか。緊急避難施設と併用した全天候型スポーツ施設整備について町長の考えは。

**答弁** 今回の震災においては、最大10箇所避難所を開設し運営などに多くの反省点があ

りました。緊急避難施設として1箇所収容する事が可能になるものと思っておりますが、課題も多く、財政状況に鑑みながら調査、研究を進めたいと思います。しばらく時間をいただきたいと思います。

**質問②** スポーツで地域づくりと観光事業との連携についてですが、青森県内には、競技スポーツが学校関係者、地域住民、競技経験者、行政など多様な連携と支援に支えられ、小・中・高一貫の継ぎ目のない振興基盤の構築がなされております。当町でもスポーツの大規模大会の開催による、スポーツ観光としての地場産品の活用等、観光事業と連携を図ることが可能ではないでしょうか。町長の考えは。

**答弁** スポーツイベントで来町する方々を取り込んで町の活性化に繋げる方策について、新たなご提案と捉えております。スポーツ大会等で当町を訪れる多くの方々に対し、観光産業の振興に結びつけられないかを、関係団体と意見交換し、スポーツと観光事業

との連携について探って参りたいと考えております。

## 県立高校教育改革 第三次実施計画の 内容について

**質問①** 青森県教委は、2014年から2017年度に係る後期計画の方向性を公表しました。当町の百石高校は、12年4月から商業科の募集が停止されると聞いております。百石高校は更に学級数の減となるのか、教育長に今後の見とおしについてお伺いいたします。

**教育長答弁** 高校教育改革第三次実施計画の内容についてであります。郡部の町村の高校の存在というのは、地元生徒の就学機会の確保や地域の活力において極めて重要な問題であり、高校の存廃・縮小問題は、議員おっしゃるように、危機感を持って対応すべきという思いは共感するものであります。百石高校の学級減の動向が出てくるとすれば、町教委としても、地元

徒の就学確保や町の教育環境の弱体化を防ぐことに努めることは、町教委としても当然の責務であると思っております。

**質問②** 県立百石高校への支援と連携強化についてですが、百石高校は地域との交流に積極的に取り組んでおり、これらの活動を充実させ、文化・運動部の活動をより活発に応援するために、町を挙げて支援してはどうでしょうか。町長の考えは。

**答弁** 百石高校は、歴史的経緯や今日、当町の幾つかの行事に積極的に参加していただくなど町とは密接なつながりを持つ県立高校だと思っております。今後も町の行事へのより密接な参画と連携をお願いしながら、高校側から町への要望等があれば、支援して参りたいと考えております。

況の悪化により、全国的に低価格入札が多く見受けられております。受注者が働く人の労働条件を確保するためにも公契約条例を制定すべきと思うが、町長の考えは。

**答弁** 現在のところ、国及び他の自治体の動向を注視しながら研究すると共に、適正な労働条件が確保されるよう、入札制度の適正化等に取り組み参りたいと考えております。

**質問②** 町の指名入札方式は、業者の選定等不透明な部分が多いため、制限付き一般競争入札を取り入れる考えはないか。導入できない阻害要因は。

**答弁** 現在の入札制度は、旧2町の制度を調整したものが基本となっていることから、現在、国の適正化指針の内容に沿った入札制度の改正に向け準備作業を進めているところであります。一般競争入札の導入を図る際は、その落札方式につきましても、適当と認められるものについて、総合評価落札方式の対象とする方向で考えております。

## 公契約条例の 制定について

**質問①** 長引く不況や財政状



馬場 正治 議員

# 町の防火体制を問う

質問

①平成22年10月に三田地区で住宅火災が発生して全焼。今年の1月3日には隣接する三本木地区で、全焼した住宅火災により一人暮らしの高齢者が犠牲になっているが、町では町内全域の防火水利について地区の行政推進委員または町内会長、ならびに地元消防団と情報を共有し、問題ある区域についての実態調査を踏まえた改善策を講じているか。

水車として活用できる容量が5トンまたは10トンの小型動力ポンプ付水槽車の配備を検討する考えはないか。

⑤二町合併後、両地区に類似する住所が多数あり、住所だけでは火災発生場所が分かりにくいいため、防災行政無線で出勤命令を出す際、地区名を入れてほしいという声もあるが改善できないか。

答弁

①町では各地区を管轄する消防団に対して防火水槽や消火栓の位置を示した水利図を配布し、各分団はそれをもとに水利状況を把握しているものと考えるが、行政推進委員や町内会とは情報の共有をしていないため、災害に対する関心が非常に高まっている状況から、現在町が「災害に強いまちづくり」を目的に各地区に結成を呼びかけている自主防災組織等に情報を提供するなど、その手法について今後検討したい。また防火水利の整備改善については、消防団からの要望、消防署からの指導・助言を参考に、計画に基づき年間3基の消火栓を設

置している。

②質問の火災発生場所は、確かに直近の消火用水路まで2百メートル以上離れており苦労したが、消防団のポンプ車は訓練どおり中継送水体制を整え、継続して放水を行ったと認識している。

③町消防団が所有しているタンク車は百石地区に4台、下田地区に1台の計5台で、すべて容量2千リットルの水槽を備えており、これは県下有数の装備と考えている。

④5トンまたは10トンの小型動力ポンプ付水槽車の配備は確かに消火活動に有効だが、安定した水量を確保するには消火栓や防火水槽の設置が必要であり、配備後の運用についても運転資格や格納庫の確保など、地元消防団では課題が多く難しいため、おいらせ消防署に配備していただくことを八戸地域広域市町村圏事務組合に対し強く要望していきたい。



小型動力ポンプ付水槽車  
(容量10トン)

⑤火災放送に地区名を付加することについては、現在通報を受ける消防本部に地区名や町内名を特定するためのデータが無く、正確な地区名等を確認するのに時間がかかれば指令が遅れる可能性もあるため、広域の他市町村でも住所と目標物のみ放送している現状について変更は困難と考える。

②この2件の火災における消火活動では、消防団とポンプ車は多数出動したが、防火水利が十分でないため、初期段階で思うような放水ができなかったのではないかと推察するが町当局の認識は。

③町消防団が所有している水槽付消防ポンプ自動車(タンク車)は、百石地区と下田地区に何台あるのか。また、その現状について町の考えは。

④町内全域の防火水利を見直して整備する場合、膨大な費用を要することが懸念されるが、災害時や断水時にも給

## 平成23年度 おいらせ町議会議長の交際費を公表

支払日	種別	件名	金額(円)
4月16日	会費	おいらせ町子ども会育成連合会総会	1,000
5月13日	会費	おいらせ町地域振興協議会総会	3,000
5月18日	会費	おいらせ町物産振興会定例総会	2,000
5月31日	会費	上北郡町村議会議長会定例会	3,000
6月16日	弔慰	元下田町議会議員葬儀 生花・香典	25,000
7月6日	会費	おいらせ町交通安全協会定例総会	3,000
7月25日	会費	八戸市おいらせ会第24回総会	6,000
7月12日	御礼	町議会運営委員会視察研修のお土産	3,150
7月15日	会費	おいらせ町防犯協会定例総会	2,000
8月20日	会費	全国将棋祭り棋士を囲む歓迎レセプション	4,000
9月23日	会費	おいらせ町下田まつり協賛金	10,000
10月31日	御礼	町総務文教常任委員会研修視察のお土産	3,000
10月31日	御礼	町産業民生常任委員会研修視察のお土産	3,000
12月3日	会費	おいらせ町消防団活動報告会	5,000
12月12日	弔慰	元おいらせ町議会議員葬儀 生花・香典	25,000
1月15日	御祝	おいらせ町消防団出初め式(19分団)	34,640
2月21日	会費	おいらせブランド推進事業報告会	3,500
2月22日	会費	平成24年度自衛隊入隊予定者激励会	4,000
3月26日	弔慰	おいらせ町議会議員親族葬儀(香典等)	15,000
合計		19件	155,290

3月1日みなくる館において、平成23年度おいらせ町表彰授与式が行われました。  
佐々木議長が、25年の長きにわたり、町議会議員に在職し、その間、町議会議長の要職を務めるなど、地方自治の振興発展と住民福祉向上に多大な貢献をされたとして、特別功労表彰を授章しました。



特別功労表彰の佐々木光雄議長

### 第2回定例会のお知らせ

平成24年6月1日(金)から開会予定

(日程は変更になることがあります)  
会場は本庁舎3階の議場で、開始時間は原則10時からです。

#### ● 問い合わせ

議会事務局(本庁舎3階)  
電話 0178(56)2112

## 編集後記

昨年の東日本大震災から1年が経過しました。第84回センバツ高校野球開会式の選手宣誓を聞いて胸が熱くなりました。「感動、勇気そして笑顔を」「見せましょう。日本の底力、絆を」「今野球が出来ることに感謝し、全身全霊で正々堂々プレイすることを約束して締めくくった、2分間のドラマは、日本中に感動と改めて震災復興の被災地の苦しみ、悲しみの中で石巻が頑張っていることを全国に知らしめたことは、スポーツが日本国民の絆を繋ぐ無限の可能性を秘めていることを知らされました。

おいらせ町議会議員として、4月で1年となります。震災復興に終始し、あっと言う間の1年間となりました。

『議員の職責は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者でないであります。』全体の奉仕者として、住民の声を議会に反映させることを基本に、議会を活性化させ、行政に活力を与えるためにも、議会広報編集委員として、『見せましょう議会の底力』を目標に、市民の皆様様に『懸け橋』を通してご理解をいただきたいと思えます。ぜひご愛読くださいますようお願い申し上げます。



議会広報編集委員  
平野 敏彦 記